

# 内部監査人のための 内部統制評価マニュアル見直し 解説講座

我が社の J-SOX 対応は本当に大丈夫か？…  
既存の評価マニュアルを形骸化させず、  
現在の財務報告の虚偽記載リスクに対応するために見直すべきポイントとは

## 開催要領

日時 2019年 2月4日(月) 13:00~17:00  
会場 企業研究会セミナールーム(東京・麹町)

## 講師紹介

国際教養大学客員教授 土田 義憲 氏 (公認会計士)

### 〔講師ご略歴〕

新日本有限責任監査法人シニアパートナー、東北工業大学教授を経て、現在、国際教養大学客員教授。公認会計士。日本公認会計士協会『内部統制検討専門委員会経営者評価小委員会』委員長(2005年7月~2008年8月)、企業会計審議会専門委員(2005年11月~2007年3月)、主な著書に「内部統制の実務」(第32回日本公認会計士協会学術賞受賞)、「財務報告に係る内部統制の実務」、「内部統制の評価モデル」、「業務プロセスからみた内部統制実践マニュアル」、「内部監査の実務」、「内部監査人養成プログラム」、「内部統制報告制度の実務」、「監査役の新仕事」、「これからの内部監査部門の仕事」、「法令等遵守の内部統制」などがある。



## ご参加頂きたい方

内部監査部門にご所属しているスタッフ・マネージャーで  
内部統制評価マニュアルの見直しを検討されたい方々

### ■受講料: 1名(税込み、資料代含む)

正会員	32,400円(本体価格30,000円)
一般	35,640円(本体価格33,000円)

### ■参加要領

当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。後日、(開催日1週間前~10日前までに)受講票・請求書をお送りします。

- \*正会員登録の有無など、よくあるご質問(FAQ)は、当会ホームページでご確認いただけます。  
(〔セミナー・会員研究会〕→〔よくあるご質問〕)
- \*お申込後のキャンセルは原則お受け致しかねますので、ご都合が悪くなった際は、代理出席をお願い致します。
- \*最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきますので、予めご了承ください。
- \*申込書をご送信頂く際はくれぐれもFAX番号をお間違えないようご注意ください。

### ■お申込・お問合せ先

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局  
担当/鈴木 E-mail:a-suzuki@bri.or.jp  
TEL:03-5215-3513 FAX:03-5215-0951  
東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR麹町ビル(旧 麹町M-SQUARE) 2F

当会ホームページよりお申込みいただくのが便利です。

企業研究会 セミナー Q 検索

※書面にてお申込みの場合には下記申込書をご記入の上、FAXにてお送りください。

181943-0202		内部統制評価マニュアル見直し 解説講座	
ふりがな 会社名			
住所	〒		
TEL		FAX	
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-mail			
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-mail			

2月 4日

(月)

13:00

## 【開催にあたって】

財務報告に係る内部統制の評価制度がスタートしてから、10年が経過しました。多くの会社では評価のマニュアルが整備され、評価作業が進められていることと思います。他方、この10年間で事業内容に変化が生じ、業務のIT化が進んだ会社も多いと思います。このような会社では、財務報告の虚偽記載リスクと統制に変化が生じている可能性があります。変化に合わせて財務報告に係る内部統制の評価が適切に行われていないと、重要な内部統制の欠陥を見落とし、虚偽の財務報告が発生し、会社の信頼性を失う危険性があります。そこで本セミナーでは、既存の評価マニュアルを形骸化させず、現在の財務報告のリスクと統制に対応するよう見直す方法について解説していきます。

- 1．会社に潜在するリスクの種類と内部統制
- 2．財務報告に係る内部統制の位置
- 3．財務報告に係る内部統制の整備、評価、監査の関係
- 4．財務報告に係る内部統制の整備
  - (1) 財務報告のリスクは虚偽記載のリスク
  - (2) 虚偽記載を予防、発見・修正するのが内部統制
  - (3) 主な業務に潜在する虚偽記載リスクと内部統制  
購買業務  
在庫管理  
販売業務  
決算業務
- 5．形骸化させない評価マニュアルの見直しの視点
  - (1) 10年前の評価はどのように進められたか？  
評価範囲  
全般統制の識別  
決算・財務報告プロセスの内部統制の識別  
業務プロセスの内部統制の識別  
運用テスト
  - (2) 見直しのポイント  
業務内容の変化と評価範囲  
ガバナンス体制の変化と全般統制  
業務プロセスのIT化と統制  
業務のIT化とテストのサンプル数  
テスト対象のローテーション

途中  
休憩タイム  
あり

17:00